

総力で5.23反東京核集会～5.24三里塚現地闘争へ



82-5-17

No. 1045

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五～六(会館)留室(2)七二〇七

憲法改悪反対・核武装化阻止！

「反戦・反核の砦」三里塚を基軸に闘いぬこう！

「よいよい」五・二三反核東京集会が目前にせまってきた。全国津々浦々・あらゆる職場・地域から「ふたたびヒロシマ・ナガサキ・ビキニの惨禍をくりかえすな！」「核戦争反対！」の声がかつてなく盛り上がり、創意ある闘いがくりひろげられている。

五・二三反核東京集会に全力で結集しよう。われわれは、この盛り上げる「反戦・反核の声」を日帝と対決する力とするため、いまこそ、「反戦・反核の闘い砦」＝三里塚闘争を基軸に政府・支配階級の改憲・核武装・軍事大国化攻撃と対決しよう。

改憲・核武装化攻撃を強める政府・自民党

鈴木自民党政府は、憲法改悪・核武装化・軍事大国化攻撃を頂点とする戦争と反動攻勢を一揆に強めている。

今国会で審議中の参院全国区制廃止法案は、小選挙区制導入の突破口をなすものであり、自民党の安定多数確保Ⅱ国会の三分の二勢力の獲得、憲法改悪に道をひらく攻撃に他ならない。

今日、日本支配階級は、世界有数の軍事力を保有し、年々その軍事力の大増強をはかっている。さらに、日米安保体制を「軍事同盟」として強化しつつ、核兵器で武装した米第七艦隊は、西太平洋・インド洋から中東に至る広範囲にわたって出動している。

また、政府・支配階級は、今日ますます激化する日米・日欧経済摩擦にみられる帝国主義相互間のアツレキと相互矛盾の激化の中で、「経済大国・日本」の生き延びる道を、憲法改悪を頂点とする国内支配体制の強化Ⅱ戦後の支配のあり方の大転換と独自の核武装化・軍事大国化Ⅱ戦争政策に求め、この攻撃を一揆に強めているのである。

核戦争政策と反動攻勢を阻止しよう

アメリカ・レーガン政権の核戦争政策は、全人類を絶滅の危機にたたせている。

今ほど、「反戦・反核」の闘いの重要なときはない。

ヨーロッパ・アメリカでは、数十万の労働者・人民が「反核」の闘いに決起している。



三浦町の人々は伴村へにげたときいて、布から久地村をぬけて伴村へ出ました。たくさんの人が人のあいだをぬけて探しました。(作・丸木健児、丸木優)

三・二一広島行動には、二〇万人が全国から決起した。

五・二三反核東京行動は、確実にこの広島を上回る闘いとしてかちとられようとしている。

ふたたびヒロシマ・ナガサキ・ビキニの惨状をくりかえしてはならない。

「反戦・反核」の闘いを三里塚・国鉄を基軸に闘い抜こう

われわれは、政府・自民党の反動攻勢と憲法改悪・核武装化攻撃に対し、三里塚・国鉄を基軸に一大反撃に立ち上ろう。

われわれ国鉄労働者への既得権剥奪・国鉄労働運動解体攻撃は、国内支配体制強化の頂点をなすものであり、戦争への道に労働者・人民をかりたてんとする攻撃に他ならない。

国労・動労中央、とりわけ、動労「本部」革マル反動分子の屈服・協力を全国鉄労働者の総決起で粉碎しよう。

三里塚二期攻撃は、「反戦・反核の闘い砦」＝三里塚闘争に対する全面的破壊・解体攻撃である。十七年間、不屈に闘う反対同盟との労働連帯を強化し、二期攻撃を粉碎しよう。

五・二三東京、二四・三里塚現地に総決起しよう。

- 5.23(日) 核兵器廃絶と軍縮をすすめる 10時
82年平和のための東京行動 代々木公園
- 5.24(月) 二期着工阻止・反対同盟破壊策「正午
勤労粉砕、三里塚現地集会」 三里塚二公園
- 6.5(土) 水・水 基本管申請撤回・労働者連帯
攻撃粉砕、労働者集会(権動労千葉市民会館)

